

各位

株式会社 **キッツ**
代表取締役社長 河野 誠
千葉県美浜区中瀬一丁目10番1
東証1部 6498**バルブトラブルの未然防止ソリューション「KISMOS」のサービス開始について**

キッツは、様々な生産プロセスで重要な役割を担うバルブの異常の予兆をいち早く検出する独自のセンシング、IoT及びAIを活用した技術開発を進めてまいりました。それら技術を活用し、このたび、プラントや工場におけるバッチ処理生産プロセス向けに、バルブの異常の予兆検出を行うモニタリングサービス「KISMOS (KITZ SMART MONITORING SYSTEM: キスモス)」として提供を開始することとなりましたのでお知らせします。

本サービスの開始により、バルブの選定から計画的なメンテナンスまで、トータルにお客様をサポートする体制が整います。キッツは、ソリューション提案型ビジネスに本格的に挑戦してまいります。

記

■生産現場が抱える課題

国内では、高度経済成長期に建設され、現在でも現役で稼働しているプラントが数多く存在しています。稼働年数が長くなるに従い、老朽化に伴うトラブルや事故のリスクが高まることから、安定操業を実現するための定期点検やメンテナンスなどの保全業務の重要性が増しています。

一方、保全業務の現場では、熟練技術者及び技能者の高齢化や労働人口の減少、さらには新型コロナウイルス感染症拡大の影響などへの対応が新たに求められています。また、品質、費用及び人員の確保などの課題もあり、その解決策として、人手に頼らない設備故障の未然防止策が必要とされています。

■KISMOS のコンセプト

バルブのモニタリング開始時の費用や工事期間が不要、かつ、運用時の作業負担が少ないバルブトラブルの未然防止ソリューションを提供します。

■KISMOS の特徴**1. サービス導入のコスト、工事時間が不要**

機器類は無償にて、お客様の現場に設置します。また、既設のバルブにセンサを取り付けるため、生産プロセスを長時間停止することはありません。

2. モニタリング業務の負担軽減

キッツがバルブの状態をモニタリングし、定期的なレポートを行います。異常の予兆を検出した際には、お客様に連絡し対応方法についてアドバイスします。

3. バルブの異常の予兆をセンサで検出

ボールバルブやバタフライバルブなどのクォーターターンバルブの主な動作不良の予兆はバルブの開閉速度の変化に現れることを利用し、センサをアクチュエータの出力軸部に取り付け、バルブの開閉動作の角速度をモニタリングすることで、人の目では判断できないようなわずかな動作の変化を捉えます。

■KISMOSのサービス概要

- ・サービスの対象は、ON/OFF制御のボールバルブ、バタフライバルブ(空気圧アクチュエータ^{※1} 操作) モニタリング用センサは既設バルブに後付け
防爆エリアにも対応(Ex ia II c T4 Gb)
 - ・バルブの開閉動作のモニタリングと診断および定期的な診断結果レポートの提出
 - ・AI 診断により、異常の予兆を検出した際の連絡と分析結果の報告
 - ・メンテナンスのアドバイス
 - ・上記サービスをオールインワンにしたモニタリングサービス(サービスは年間契約で1年更新)
- ※1 他社製のアクチュエータにも取付け可能です(詳細はご相談ください)



■サービス開始日

2022年2月1日 受付開始

以上

■本件に関するお問い合わせ先

バルブ事業統括部 ビジネスプロモーションセンター
ES開発部 メンテナンスソリューショングループ
TEL: 043-299-0174
E-mail: info-kismos@kitz.co.jp